

# 情報共有基盤の これまでの取り組みと今後の方向性



令和2年3月24日  
内閣官房情報通信技術  
(IT)総合戦略室

# 社会の基盤である行政機関の保有するデータ群

- n データが、安価かつ安定的に供給される持続可能なエコシステムが重要。  
社会の基本データは、デジタル時代のインフラであり、地力(ポテンシャル)である。
- n 行政や社会のデジタル化を実現するため、行政が保有するデータの整備を推進。

## データ環境の整備が遅れている国・都市

新ビジネスのスタートアップコストが大きい  
サービスレベルが向上しない

データ収集でコストと時間を浪費  
実証できても持続できない



法人 データ	土地 データ	インフラ データ	交通 データ
-----------	-----------	-------------	-----------

データが、低品質であったり、利用制限されている場合がある。



人や企業、投資は、より魅力的な場所へ移動

## データ環境が整備済みの国・都市

すぐに新ビジネスを開始できる  
暮らしやすい

オープンデータ + 民間データ



プラットフォーム  
ベースレジストリ(台帳)

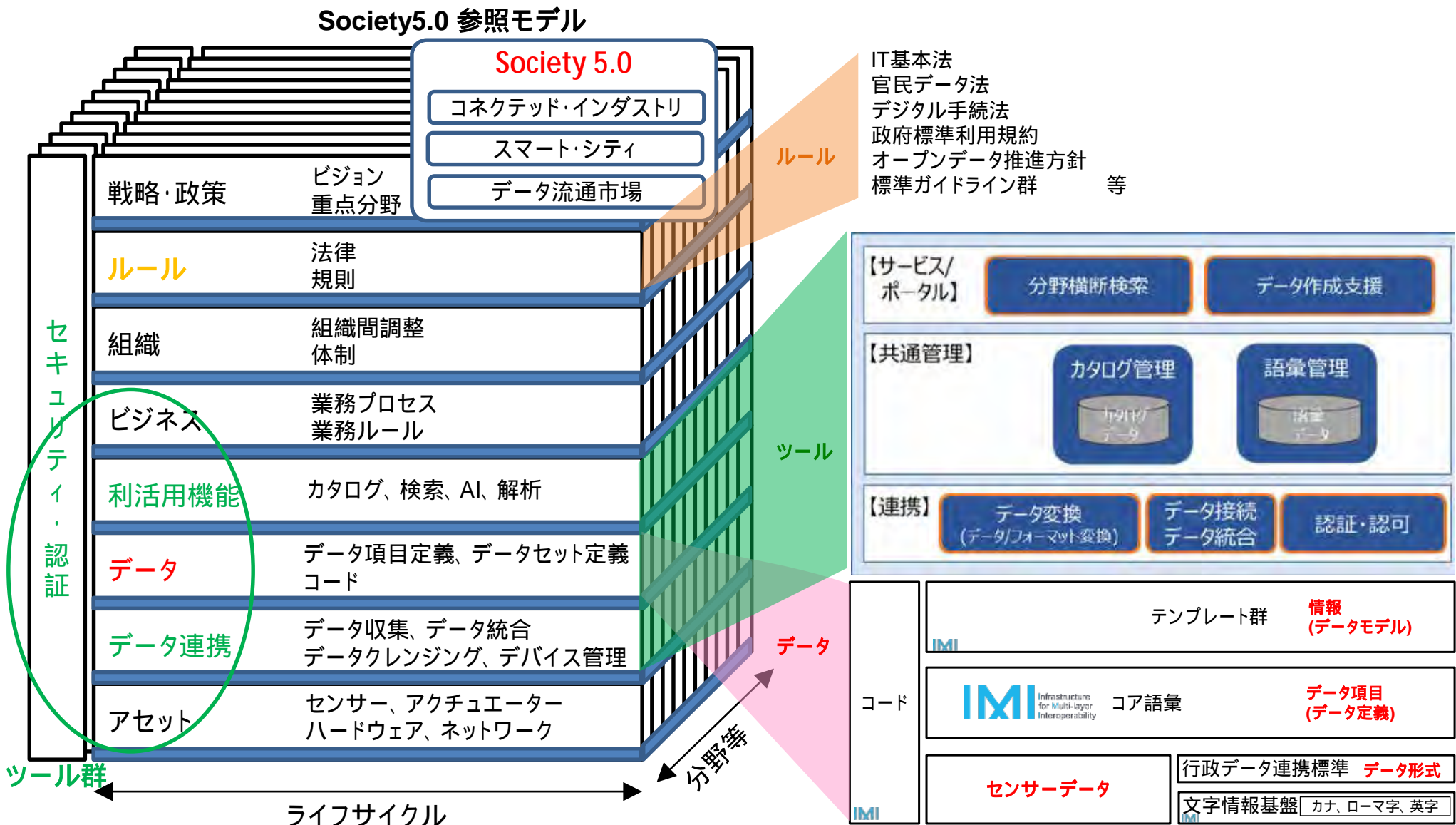
法人 データ	土地 データ	インフラ データ	交通 データ
-----------	-----------	-------------	-----------

データは最新かつ正確で自由に使える。また、連携している。

ベース・レジストリとは、公的機関等で公開され、様々な場面で参照される、人、法人、土地、資格等の社会の基本データ(台帳類)

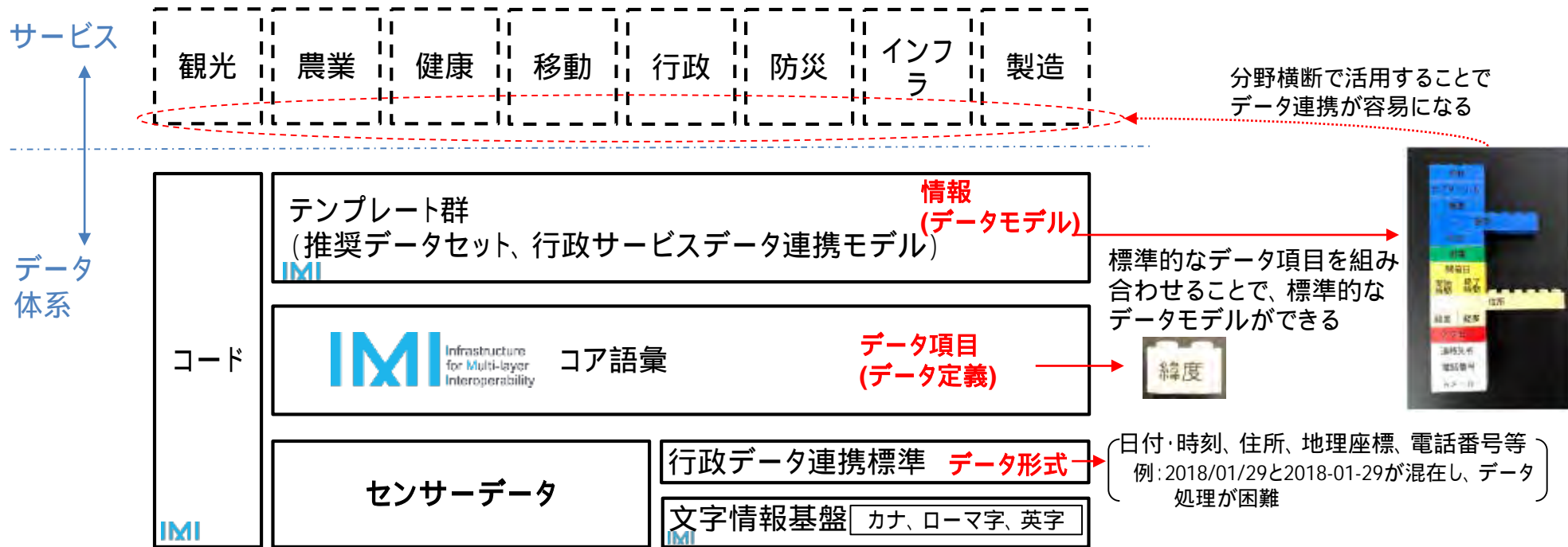
# アーキテクチャの中でのデータの位置づけ

n 持続可能なサービスには、ルール、データ、ツールの3要素が重要。



# IT総合戦略室が推進しているデータ体系

n 社会全体でデータ利活用するため、体系的に相互運用性を確保。



- 1 IMI は、デジタルガバメントで推進している共通語彙基盤の略称。国際連携も実施中。
- 2 データを扱うためのツール体系、データ品質は確保するための品質体系も整備していく必要がある

n 機動性の高い社会システムを作るため、データ体系は必須の基盤。

# デジタル・ガバメントを支えるガイドライン群

n 基盤となるガイドライン等を面で整備。

デジタル・ガバメント

## 前提条件

- ・サービスデザイン思考で考えること
- ・サービスが見つげられること
- ・きちんと作られること

## 行政手続・民間取引IT化の3原則

### デジタルファースト

- ・紙からデータへ

### ワンス・オンリー

- ・データ項目を再利用

### ワンストップ

- ・APIによるサービス連携

## 基盤

- ・クラウドの活用

サービスデザイン実践ガイドブック(β版)

Webサイト等ドメイン管理ガイドライン

Webサイトガイドライン

Webサイトガイドブック

サービス・カタログガイドブック

デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン

標準ガイドライン解説書

標準ガイドライン実践ガイドブック

押印見直しガイドライン(H9策定済み)

本人確認ガイドライン

デジタル時代の本人確認手段

文字環境導入実践ガイドブック

スマートフォンで扱える文字体系

行政基本情報データ連携モデル

RPAやAIに対応容易なデータ標準

行政サービス・データ連携モデル

マスターデータ等基本データ導入実践ガイドブック

再利用や連携が容易な基本データ群

コード導入 実践ガイドブック

推奨データセットや法人関連データ群とも連携を強化

API導入実践ガイドブック

サービス間連携をするためのAPI

API テクニカルガイドブック

キャッシュレス決済入門

金融データの交換

データ品質ガイドブック

正確性や最新性の評価

クラウドサービス利用方針

その他:技術レポート、リスト<sup>4</sup>